

2014年5月29日
日 本 銀 行
金 融 市 場 局

当面の長期国債買入れの運営について

日本銀行は、長期国債買入れについて、当面、以下のとおり運営することとしました（6月2日より適用）。

1. 買入金額

毎月6～8兆円程度を基本とする。ただし、政策効果の浸透を促すため、市場動向を踏まえて弾力的に運用する。

2. 買入対象国債

利付国債（2年債、5年債、10年債、20年債、30年債、40年債、変動利付債、物価連動債）

3. 国債種類・残存期間による区分別の買入金額

別紙のとおり

4. 買入頻度

月8～10回（営業日）程度（必要に応じて回数を増やすことがある）

5. 買入方式

コンベンショナル方式による入札

- ・利付国債（変動利付債、物価連動債を除く）：利回較差入札方式
- ・変動利付債、物価連動債：価格較差入札方式

以 上

(別紙)

<当面の月間買入予定>

(単位：億円)

		オファー回数	1回あたりオファー金額	合計
利付国債 (変動利付債、物価連動債を除く)	残存期間：1年以下	2回程度	1,100～2,000程度	2,200～4,000程度
	残存期間：1年超5年以下	6回程度	5,000～7,000程度	30,000～42,000程度
	残存期間：5年超10年以下	6回程度	4,500～6,000程度	27,000～36,000程度
	残存期間：10年超	5回程度	1,500～3,500程度	7,500～17,500程度
変動利付債<偶数月>		隔月1回	1,400	1,400
物価連動債<奇数月>		隔月1回	200	200

(注1) 2つまたは3つの残存期間区分を同時にオファーします。

(注2) 買入対象銘柄の残存期間が重複する利付国債の入札日(流動性供給入札を含む)には、原則オファーしません。また、物価連動債および変動利付債の買入は月の後半に行います。

(注3) 残存期間1年超5年以下については、残存期間の区分を細分化して同時にオファーすることがあります。